

高精度胎土分析による 土器研究の新展開

日時：平成30年12月25日(火)

13:30~14:15

場所：理系複合棟321室

講師：石田 智子 准教授/博士 (比較社会文化)
鹿児島大学 法文学部人文学科

【概要】

日本考古学には土器研究の膨大な蓄積がある。これまでの土器研究は、形態や文様に基づく編年や地域性、土器にまつわるヒトの動きの検討が中心であった。しかし、もの言わぬ土器に来歴を語らせるためには、“人間の眼”だけでは限界がある。近年は、自然科学的分析手法を用いて、土器を形づくる物質そのものから情報を引き出す「胎土分析」が進展している。“科学の眼”をもつことで、わたしたちは新たな領域に踏み出しつつある。

本セミナーでは、多様な胎土分析方法の現状と課題を踏まえた上で、これからの胎土分析研究の展開可能性を論じる。特に、XRFやLA-ICP-MSを用いた希土類元素・微量元素による弥生土器の産地同定や、土器に含まれる火山ガラスに着目した先史時代の地域間交流などの、考古学と地球科学の融合研究の実践例を紹介する。



※ 参加申込は不要です。お気軽に参加してください。

問い合わせ先

研究基盤センター事務室(理系複合棟307室) 泉水 仁・青山 洋昭
TEL: [895-8967](tel:895-8967) E-mail: irc@lab.u-ryukyu.ac.jp HP: <http://www.irc1.lab.u-ryukyu.ac.jp/>